



新聞部門実施要領



大会マスコット
キャラクター
さぬぼん

開催期間：令和7年7月28日（月）～7月30日（水）
会場：四国学院大学 善通寺市民会館

目次

1	新聞部門大会基本方針・大会役員等	2
2	大会日程	3
3	大会参加にあたって	4
4	第29回全国高等学校新聞年間紙面審査賞 入賞校及び奨励賞校	5
5	参加校一覧	6
6	会場周辺図	7
7	会場案内図	8
8	シャトルバス	13
9	交流新聞取材コース	14
10	研修取材	25
11	令和7年度全国新聞専門部 役員名簿	26
12	緊急時の対応などについて	27
13	個人情報の取扱いについて	32

実施要領に関する問い合わせ：

第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭2025）

新聞部門代表委員 香川県立三木高等学校 教諭 井上 加恵

tel: 087-891-1100 fax: 087-891-1551

email: shinbun@kagawa-soubunsai2025.pref.kagawa.jp

部門携帯：080-4386-2855（平日9:00～18:00）

1 新聞部門大会基本方針・大会役員等

【大会基本方針】

世界に誇る美しい瀬戸内の自然に囲まれ、創造性をかきたてるアートや魅力的な名所に満ちあふれた香川県で、2度目となる総合文化祭を開催します。

私たちは、これまで紡いできた輝かしい伝統を引き継ぎつつ、進化を続ける香川県の魅力と、新しい世代の価値観を織り交ぜながら、香川県から日本に、世界に、笑顔の輪を広げる大会を目指します。

伝笑～でんしょう～

参加者だけでなく、その家族や仲間たちに笑顔が広まる。そして、これまで紡いできた伝統と、高校生が繋がることの価値を、後輩たちに笑顔で伝承する。

必笑～ひっしょう～

全国で積み上げてきた必死の努力を全力でぶつけ合うことで、勝敗を超えた感動や達成感が生まれる。そして、最後はみんなで笑い合うことができる。

優笑～ゆうしょう～

交流を通じてお互いの理解を深め合い、優しく笑顔で接することができる。そして、参加した全員で、これまでの頑張りに対して最大限の拍手とエールを送り合う。

【大会役員】

委員長	松崎 隆尚	高等学校文化連盟全国新聞専門部会長
副委員長	宮滝 寛己	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 新聞部門委員会委員長 (香川県高等学校文化連盟新聞専門部会長)
委員	富安 道伸 井上 加恵	高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局長 第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 新聞部門委員会代表委員

【全国高校年間紙面審査賞 審査員】

審査員	内山 康正	元全国高等学校文化連盟新聞部門常任理事
審査員	菅野 昭浩	元北海道高等学校文化連盟新聞専門委員
審査員	武内 義明	元高等学校文化連盟全国新聞専門部常任理事
審査員	鎌田 寛二	元全国高等学校文化連盟新聞部門常任理事
審査員	中根 淳一	元高等学校文化連盟全国新聞専門部常任理事・『新聞と教育』編集長
審査員	山本 紀子	元兵庫県立高校新聞部顧問

【大会講師】

交流新聞作成指導	鈴木真由美	元高等学校文化連盟全国新聞専門部常任理事
交流新聞講評	谷口 豊	前高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局長

2 大会日程

会場：四国学院大学

7月28日(月)

全国高等学校新聞年間紙面審査賞最終審査会	9:30~14:00	ライオン館(図書館)3F
*受付	13:30~	カフェテリアコイノス
高等学校文化連盟全国新聞専門部理事会	14:10~15:50	4号館411教室
顧問連絡会	16:00~16:40	3号館311教室
1 交流会		
(1) 生徒交流会	16:00~16:40	アトリウムコイノス
(2) 班別編集会議	16:50~18:00	アトリウムコイノス

7月29日(火)

*受付	8:10~	アトリウムコイノス
2 開会行事		
(1) 開会式	9:00~ 9:20	アトリウムコイノス
・開会の言葉	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会生徒新聞部門委員会副委員長 間城 玲音(香川県立高松東高等学校)	
・あいさつ	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会生徒新聞部門委員会委員長 藤田 望花(高松第一高等学校)	
	善通寺市長 辻村 修	
	高等学校文化連盟全国新聞専門部会長 松崎 隆尚(三重県立名張高等学校長)	
	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会新聞部門委員会委員長 宮滝 寛己(香川県立丸亀高等学校長)	
(2) 全国高等学校新聞年間紙面審査賞表彰式	9:20~10:00	アトリウムコイノス
・審査員紹介		
・審査結果発表・講評		
・表彰	高等学校文化連盟全国新聞専門部会長 松崎 隆尚(三重県立名張高等学校長)	
・受賞校代表あいさつ		
3 交流新聞		
(1) 講話「交流新聞作成と取材活動のポイント」	10:10~10:40	アトリウムコイノス
元高等学校文化連盟全国新聞専門部常任理事	鈴木 真由美(滋賀県立虎姫高等学校教諭)	
*弁当配付	10:40~	〈カフェテリアコイノス〉
(2) 班別編集会議	10:40~11:00	アトリウムコイノス
(3) 昼食	11:00~11:30	アトリウムコイノス
(4) 取材活動	11:40~16:20	〈県内各所〉
Aコース	東かがわの産業	Bコース 「香川漆芸」これまでと今
Cコース	水城の今と高松の伝統産業	Dコース 瀬戸内海の漁業と海上交通
Eコース	瀬戸大橋と島の暮らし	Fコース 香川のうどん文化
Gコース	城の修復と丸亀の伝統産業	Hコース 善通寺今昔
Iコース	金刀比羅宮と琴平の町おこし	Jコース 香川の水事情
Kコース	西讃の観光資源の保全	
(5) 交流新聞制作	16:30~18:00	アトリウムコイノス

7月30日(水)

*受付	8:10~	アトリウムコイノス
(6) 交流新聞制作	9:00~11:30	アトリウムコイノス
*弁当配付	11:00~	〈カフェテリアコイノス〉
(7) 昼食	11:30~12:30	アトリウムコイノス
4 生徒活動発表	12:30~13:10	アトリウムコイノス
5 交流新聞講評	13:20~14:05	アトリウムコイノス
前高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局長	谷口 豊(石川県立金沢泉丘高等学校教諭)	
6 閉会式	14:10~14:30	アトリウムコイノス
・大会回顧 高等学校文化連盟全国新聞専門部事務局長	富安 道伸(三重県立相可高等学校教諭)	
・次年度開催県代表あいさつ		
	秋田県実行委員会新聞部門委員長 仲山 智(秋田県立秋田西高等学校)	
	秋田県新聞部門生徒実行委員長 中田 音花(秋田県立能代高等学校)	
・お礼の言葉	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会生徒新聞部門委員会委員長 藤田 望花(高松第一高等学校)	
・閉会の言葉	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会生徒新聞部門委員会副委員長 森 悠真(香川県立高松桜井高等学校)	
7 研修取材(任意)	14:50~18:00	四国水族館

会場：善通寺市民会館

参加校の新聞作品展示 7月28日(月)~30日(水) 9:00~17:00(最終日は12:30まで)

3 大会参加にあたって

(1) 会場について

- ① 受付は1日目はカフェテリアコイノスで、2、3日目はアトリウムコイノスで行います。
- ② 上履きは不要です。
- ③ カフェテリアコイノスは、大会期間中も大学の寮生が朝食・夕食時に使用します。
- ④ JR善通寺駅はそれほど大きな駅ではないうえに列車の本数も限られているため、通勤時間や他の会場移動とも重なり、朝夕ともに混雑が予想されます。シャトルバスもご利用ください。（詳しくは「8 シャトルバスについて」）
- ⑤ 駐車場は、大学の職員や学生、大会運営員も使用するため、駐車可能台数に限りがあります。また、1回につき300円必要です。警備員は配置しませんので、ご利用の場合は気をつけてご利用ください。
- ⑥ 新聞展示は善通寺市民会館のロビーで行います。1日目（7月28日）に限り、善通寺市民会館前で荷物預かりのテントを設置します。こちらでは展示を観覧する間のみスーツケース等の荷物をお預かりしますので、観覧後は大学の荷物預かり所（6号館1階615号室）にお預けください。
- ⑦ 式典・全体行事の間は携帯電話やスマートフォンは電源を切るかマナーモードに切替えてください。
- ⑧ 救護室は6号館1階の614号室です。体調不良の場合は無理をせず大会運営員にお知らせください。
- ⑨ 貴重品は各自で管理してください。
- ⑩ 注文した弁当の空き箱、館内で購入した飲料の容器以外のゴミは、原則各自でお持ち帰りください。館内のゴミ箱は使用できません。交流新聞作成で出た紙くず等を捨てるゴミ袋は主催者で用意します。

(2) 昼食弁当について

- ① 宿泊等サポートセンターを通じて弁当を注文された場合
弁当の引き換えはカフェテリアコイノスで学校ごとに行います。
弁当の引換券を忘れずにお持ちください。食べ終わった弁当の空き箱は、カフェテリアコイノス入口で回収します。
- ② 弁当を注文されなかった場合、各自昼食を持参してください。大学の食堂は営業していますが、本大会関係者が食事に利用することはできません。大学内の自販機は使用できます。

(3) 交流新聞について

- ① 新聞制作に必要な文房具類について、以下の物品は主催者で用意します。これ以外の物品や鉛筆・消しゴム等の筆記用具などは各自で御持参ください。
交流新聞用レイアウト用紙、交流新聞原稿用紙、サインペン(黒・カラー)、修正テープ、
定規(30cm)、はさみ、カッター、カッティングボード、のり、スクリーントーン
- ② 取材活動用のカメラは、各自で御持参ください。SDカードについては各班2枚を主催者で用意します。
- ③ 一般的なパソコン、プリンター、カードリーダー、さらに、スマートフォンで撮影した写真をパソコンに取り込むことができる環境は用意します。iPhoneでそのまま撮影すると拡張子が「HEIC」になりワードで読み込めないなので、「JPEG」で保存するよう設定し直して撮影してください。
- ④ 生徒は、取材先や取材内容に関わることを、事前に調べて大会に臨んでください。各班の顧問の先生は、班の生徒の新聞作成をご指導ください。
- ⑤ 取材活動時の雨天や暑さに備えて、各自雨具や帽子等をご準備ください。また、熱中症対策として水分補給をするなど、体調管理には十分に御注意ください。
- ⑥ 貸切バスで移動するコースの人は、バス駐車場へは大会運営員の指示に従って班ごとに移動してください。安全に留意して、時間に余裕をもって集合してください。

(4) その他

- ① 悪天候など急な事態への対応については、事前に巻末の緊急時対応マニュアルを一読ください。
- ② 交流新聞の班名簿は、参加校へのメール等でお知らせします。
- ③ 本実施要領の記載内容は、変更になる場合もあります。今後の連絡、案内、変更などは、大会公式ホームページ、参加校へのメール等でお知らせします。
- ④ 撮影した写真は新聞作成のみに使用し、SNSへの掲載等には使用しないでください。
- ⑤ 各班に所属する参加者は、その班の生徒・顧問の人数分の最新号（もしくはこの1年間で発行した新聞）を持参してください。1日目の生徒交流会で班のメンバーに1部ずつ配布してください。

(5) 感染症予防対策について

大会参加時のマスクの着用は、個人の判断に委ねます。ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面等や症状がある場合等においては、マスクの着用を推奨します。（詳しくは「12 緊急時の対応などについて」）

4 第29回全国高校新聞年間紙面審査賞 入賞校 及び 奨励賞校 入賞校 45校

高校名	都道府県	高校名	都道府県	高校名	都道府県
旭川工業高校	北海道	川越高校	埼 玉	沼津東高校	静 岡
小樽双葉高校	北海道	久喜北陽高校	埼 玉	富士高校	静 岡
帯広柏葉高校	北海道	越谷北高校	埼 玉	富士東高校	静 岡
札幌啓成高校	北海道	所沢北高校	埼 玉	虎姫高校	滋 賀
土別翔雲高校	北海道	不動岡高校	埼 玉	八幡工業高校	滋 賀
市立札幌開成中等学校	北海道	松山高校	埼 玉	彦根東高校	滋 賀
名寄高校	北海道	錦城高校	東 京	守山高校	滋 賀
北海高校	北海道	慶應義塾湘南藤沢高等部	神奈川	明石城西高校	兵 庫
芽室高校	北海道	向上高校	神奈川	崇徳高校	広 島
寒河江高校	山 形	石動高校	富 山	修猷館高校	福 岡
相馬高校	福 島	富山国際大学付属高校	富 山	福岡大学附属大濠高校	福 岡
福島高校	福 島	金沢泉丘高校	石 川	八女学院高校	福 岡
安積高校	福 島	清水桜が丘高校	静 岡	西陵高校	長 崎
古川学園高校	宮 城	清水東高校	静 岡	長崎日本大学高校	長 崎
矢板中央高校	栃 木	葦山高校	静 岡	長崎南高校	長 崎

奨励賞校 20校

高校名	都道府県	高校名	都道府県	高校名	都道府県
上士幌高校	北海道	三輪田学園高校	東 京	美鈴が丘高校	広 島
清水高校	北海道	長岡農業高校	新 潟	脇町高校	徳 島
市立函館高校	北海道	南砺福野高校	富 山	高知農業高校	高 知
郡山萌世高校	福 島	金沢大学附属高校	石 川	大分上野丘高校	大 分
昭和第一学園高校	東 京	鯖江高校	福 井	大島高校	鹿児島
立川高校	東 京	桜丘高校	三 重	松陽高校	鹿児島
桐朋高校	東 京	東大津高校	滋 賀		

5 参加校一覧

参加校129校

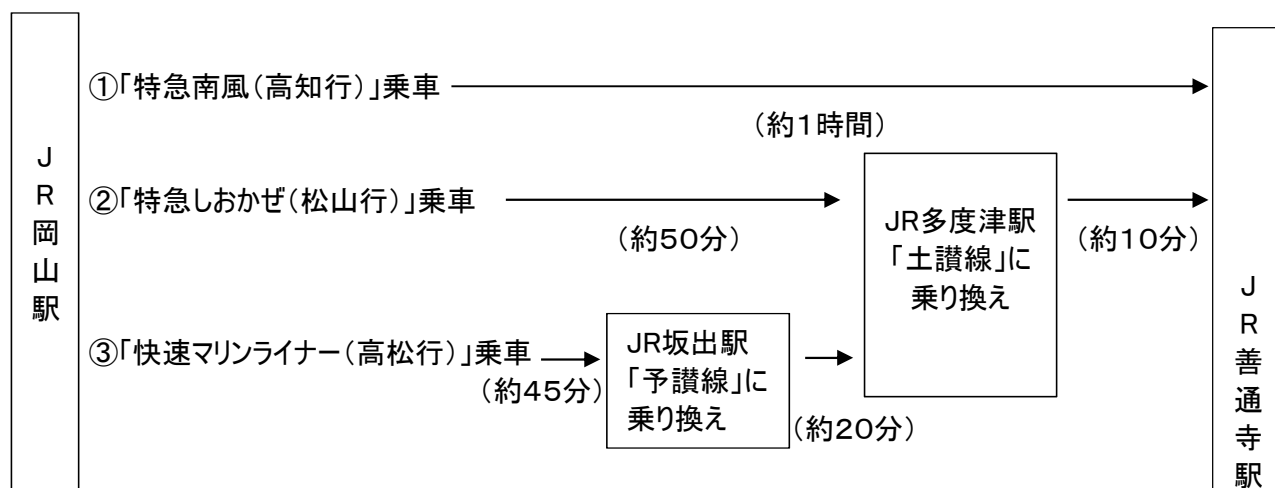
NO.	都道府県	参加校名	NO.	都道府県	参加校名	NO.	都道府県	参加校名
1	北海道	札幌光星高等学校	45	神奈川県	神奈川県立厚木高等学校	89	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校
2	北海道	市立札幌旭丘高等学校	46	神奈川県	青山学院横浜英和高等学校	90	滋賀県	滋賀県立守山高等学校
3	北海道	市立札幌開成中等教育学校	47	神奈川県	慶應義塾湘南藤沢高等部	91	兵庫県	兵庫県立明石城西高等学校
4	北海道	北海道滝川西高等学校	48	神奈川県	向上高等学校	92	兵庫県	兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校
5	北海道	北海道登別明日中等教育学校	49	神奈川県	横浜雙葉高等学校	93	兵庫県	兵庫県立御影高等学校
6	北海道	北海道旭川工業高等学校	50	新潟県	新潟県立新潟中央高等学校	94	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校
7	北海道	北海道帯広柏葉高等学校	51	新潟県	新潟県立巻高等学校	95	和歌山県	開智高等学校
8	北海道	北海道札幌啓成高等学校	52	新潟県	新潟県立長岡農業高等学校	96	鳥取県	鳥取県立倉吉東高等学校
9	北海道	北海道士別翔雲高等学校	53	新潟県	新潟県立高田北城高等学校	97	鳥取県	鳥取県立倉吉農業高等学校
10	北海道	北海道名寄高等学校	54	富山県	富山県立高岡南高等学校	98	鳥取県	鳥取城北高等学校
11	北海道	北海高等学校	55	富山県	富山県立南砺福野高等学校	99	島根県	島根県立出雲高等学校
12	北海道	北海道芽室高等学校	56	富山県	高岡第一高等学校	100	島根県	島根県立安来高等学校
13	岩手県	岩手女子高等学校	57	富山県	富山県立石動高等学校	101	島根県	島根県立出雲工業高等学校
14	岩手県	岩手県立高田高等学校	58	富山県	富山国際大学付属高等学校	102	広島県	崇徳高等学校
15	宮城県	古川学園高等学校	59	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	103	山口県	山口県立下関工科高等学校
16	宮城県	宮城県石巻高等学校	60	石川県	石川県立金沢二水高等学校	104	山口県	山口県立防府商工高等学校
17	宮城県	宮城県工業高等学校	61	石川県	金沢大学附属高等学校	105	徳島県	徳島県立脇町高等学校
18	宮城県	東陵高等学校	62	福井県	福井県立鯖江高等学校	106	香川県	香川県立高松東高等学校
19	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	63	福井県	福井県立美方高等学校	107	香川県	香川県立香川中央高等学校
20	秋田県	秋田県立能代松陽高等学校	64	福井県	北陸高等学校	108	香川県	高松第一高等学校
21	秋田県	秋田県立秋田西高等学校	65	山梨県	山梨県立韮崎工業高等学校	109	高知県	高知県立高知農業高等学校
22	山形県	山形県立東桜学館高等学校	66	山梨県	山梨県立都留高等学校	110	高知県	高知県立高知追手前高等学校
23	山形県	山形県立山形西高等学校	67	山梨県	山梨県立甲府第一高等学校	111	高知県	高知県立高知小津高等学校
24	山形県	山形県立山辺高等学校	68	長野県	長野県長野高等学校	112	福岡県	福岡県立嘉穂高等学校
25	山形県	山形県立寒河江高等学校	69	長野県	上田西高等学校	113	福岡県	福岡県立新宮高等学校
26	福島県	福島県立相馬高等学校	70	長野県	長野県松本県ヶ丘高等学校	114	福岡県	福岡県立修猷館高等学校
27	福島県	福島県立福島高等学校	71	静岡県	日本大学三島高等学校	115	福岡県	福岡大学附属大濠高等学校
28	福島県	福島県立安積高等学校	72	静岡県	静岡県立三島北高等学校	116	福岡県	八女学院高等学校
29	茨城県	岩瀬日本大学高等学校	73	静岡県	静岡県立清流館高等学校	117	佐賀県	弘学館高等学校
30	茨城県	茨城県立古河中等教育学校	74	静岡県	静岡県富士見高等学校	118	佐賀県	佐賀県立佐賀工業高等学校
31	茨城県	つくば秀英高等学校	75	静岡県	静岡県立韮山高等学校	119	佐賀県	佐賀県立有田工業高等学校定時制
32	栃木県	矢板中央高等学校	76	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	120	長崎県	長崎県立西陵高等学校
33	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	77	静岡県	静岡県立富士高等学校	121	長崎県	長崎日本大学高等学校
34	群馬県	群馬県立高崎高等学校	78	静岡県	静岡県立富士東高等学校	122	長崎県	長崎県立長崎南高等学校
35	群馬県	群馬県立高崎女子高等学校	79	静岡県	静岡県立清水東高等学校	123	大分県	大分県立大分上野丘高等学校
36	埼玉県	埼玉県立松山高等学校	80	静岡県	静岡市立清水桜が丘高等学校	124	大分県	大分県立大分豊府高等学校
37	埼玉県	埼玉県立越谷北高等学校	81	三重県	三重県立上野高等学校	125	宮崎県	宮崎県立都城西高等学校
38	埼玉県	埼玉県立不動岡高等学校	82	三重県	三重県立名張高等学校	126	宮崎県	宮崎県立宮崎大宮高等学校
39	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	83	三重県	桜丘高等学校	127	宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校
40	埼玉県	埼玉県立所沢北高等学校	84	滋賀県	比叡山高等学校	128	鹿児島県	鹿児島県立松陽高等学校
41	埼玉県	埼玉県立久喜北陽高等学校	85	滋賀県	滋賀県立甲西高等学校	129	鹿児島県	鹿児島県立大島高等学校
42	東京都	東京都立立川高等学校	86	滋賀県	滋賀県立東大津高等学校			
43	東京都	錦城高等学校	87	滋賀県	滋賀県立虎姫高等学校			
44	東京都	吉祥女子高等学校	88	滋賀県	滋賀県立八幡工業高等学校			

6 会場周辺図

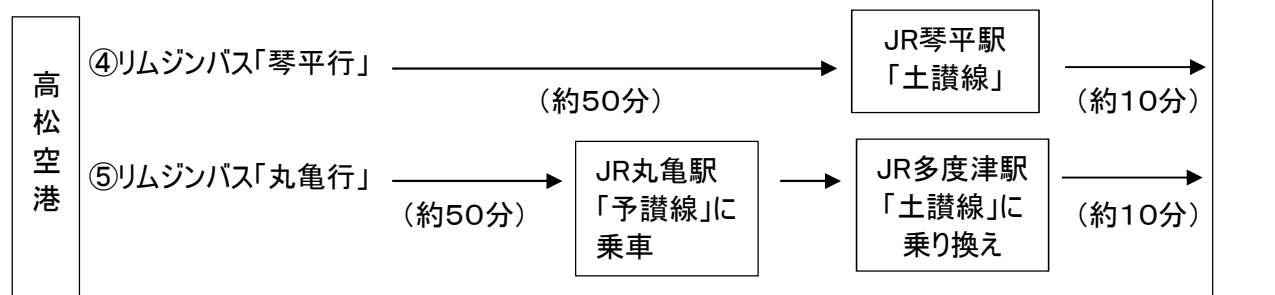


* JR善通寺駅から徒歩10分

●JR利用の場合

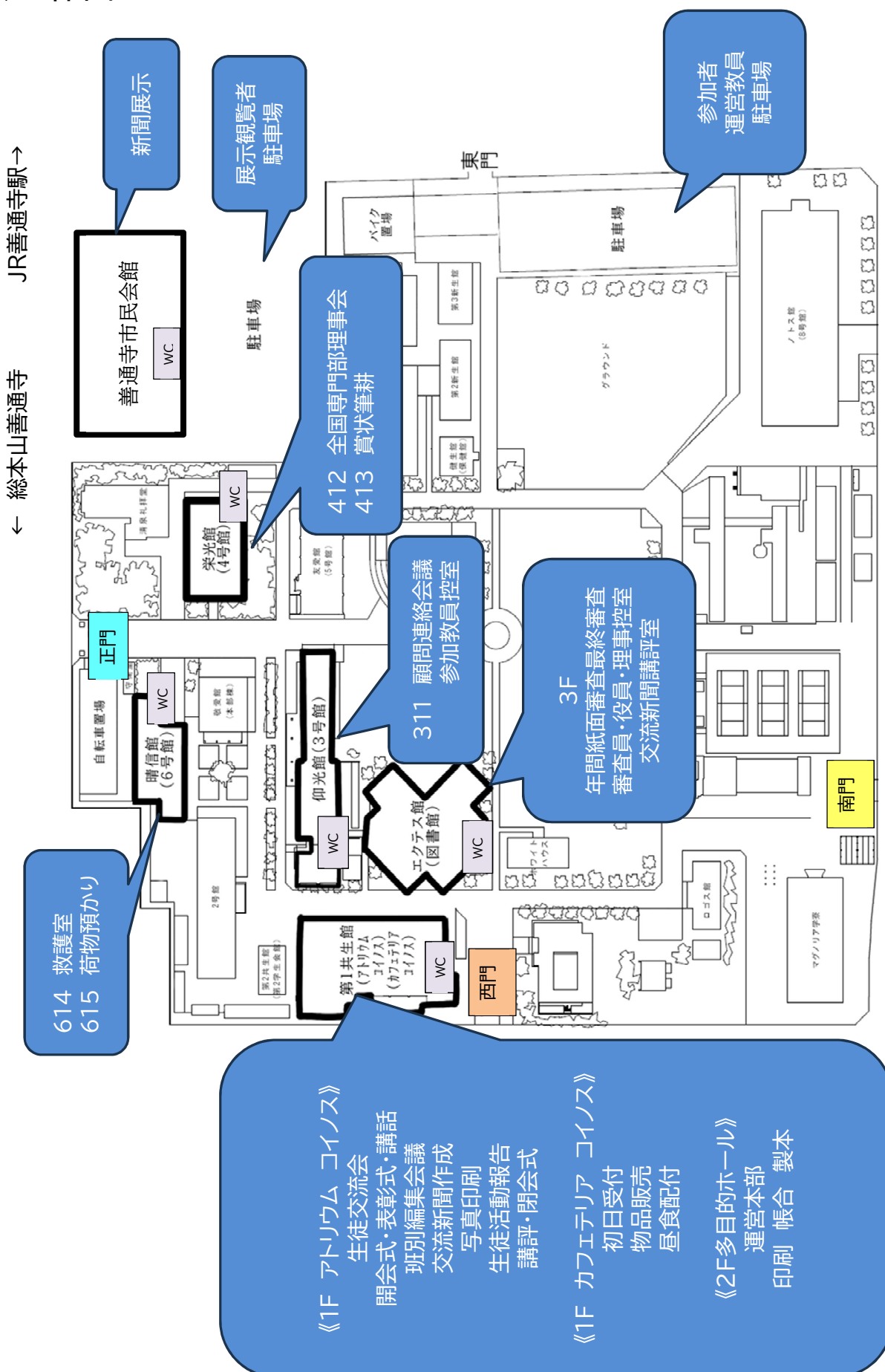


●高松空港利用の場合



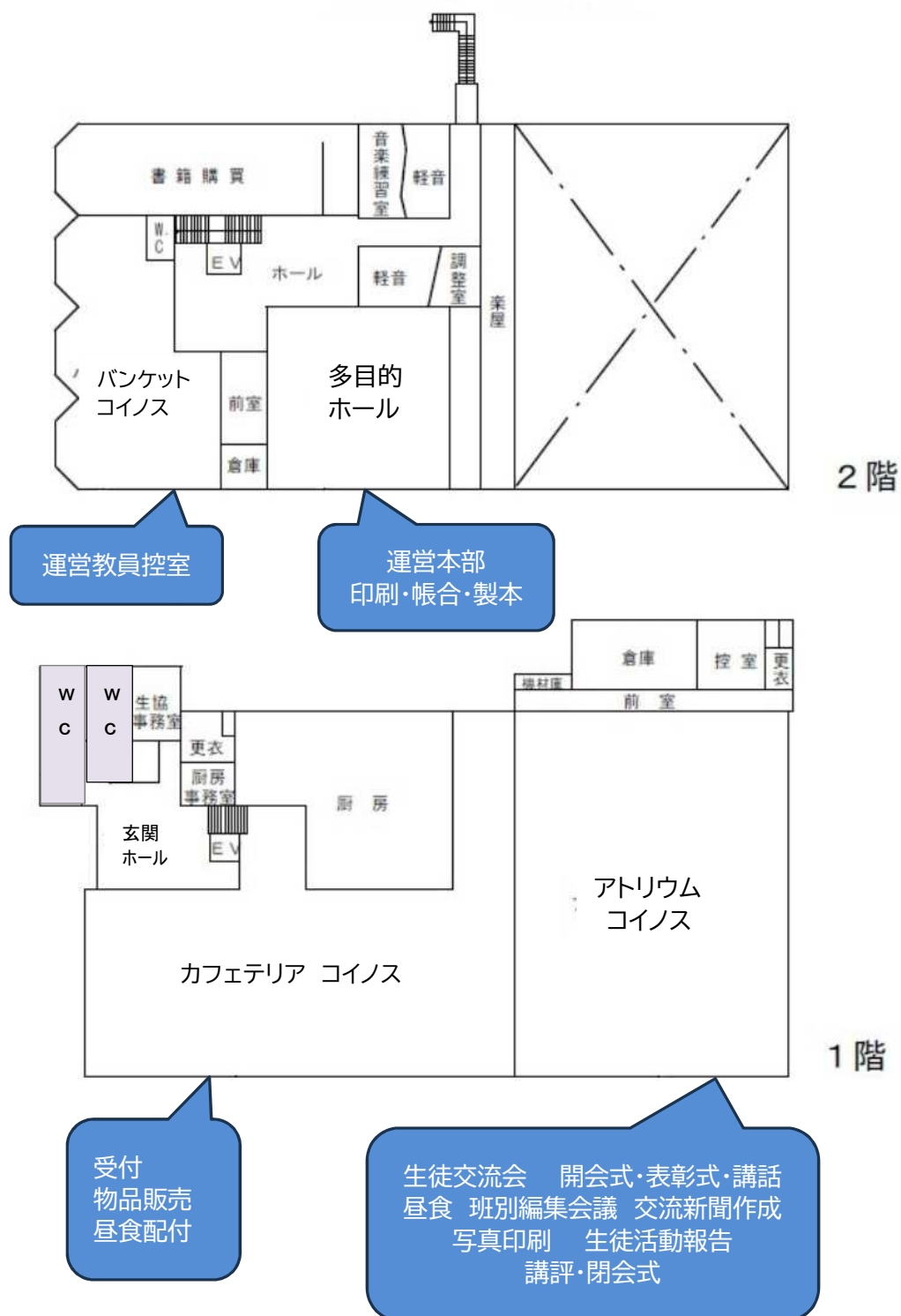
7 会場案内図

(1)全体図



(2) 四国学院大学内 詳細図

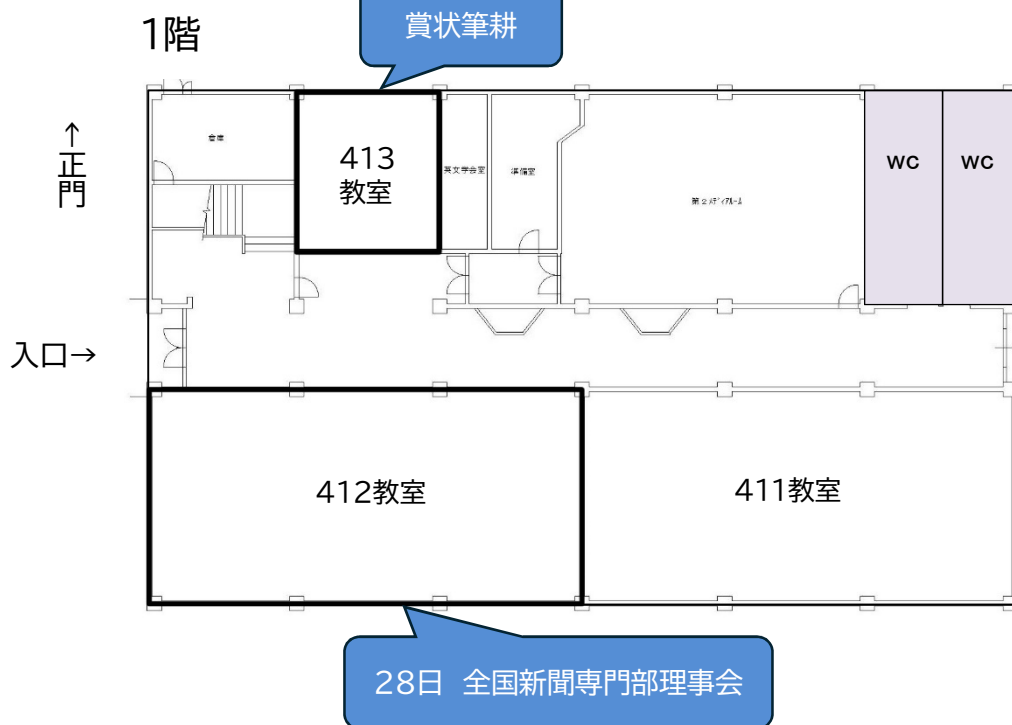
第1共生館



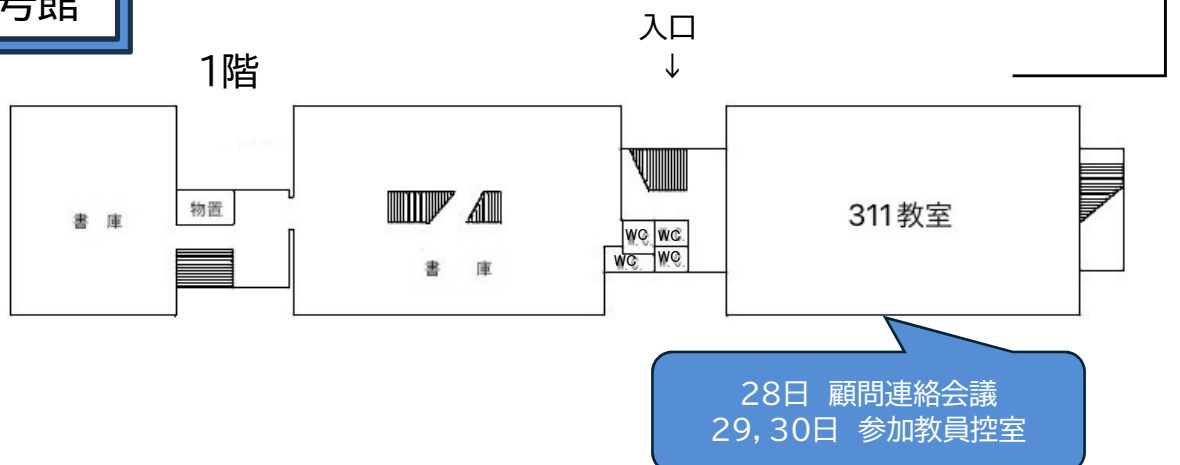
6号館



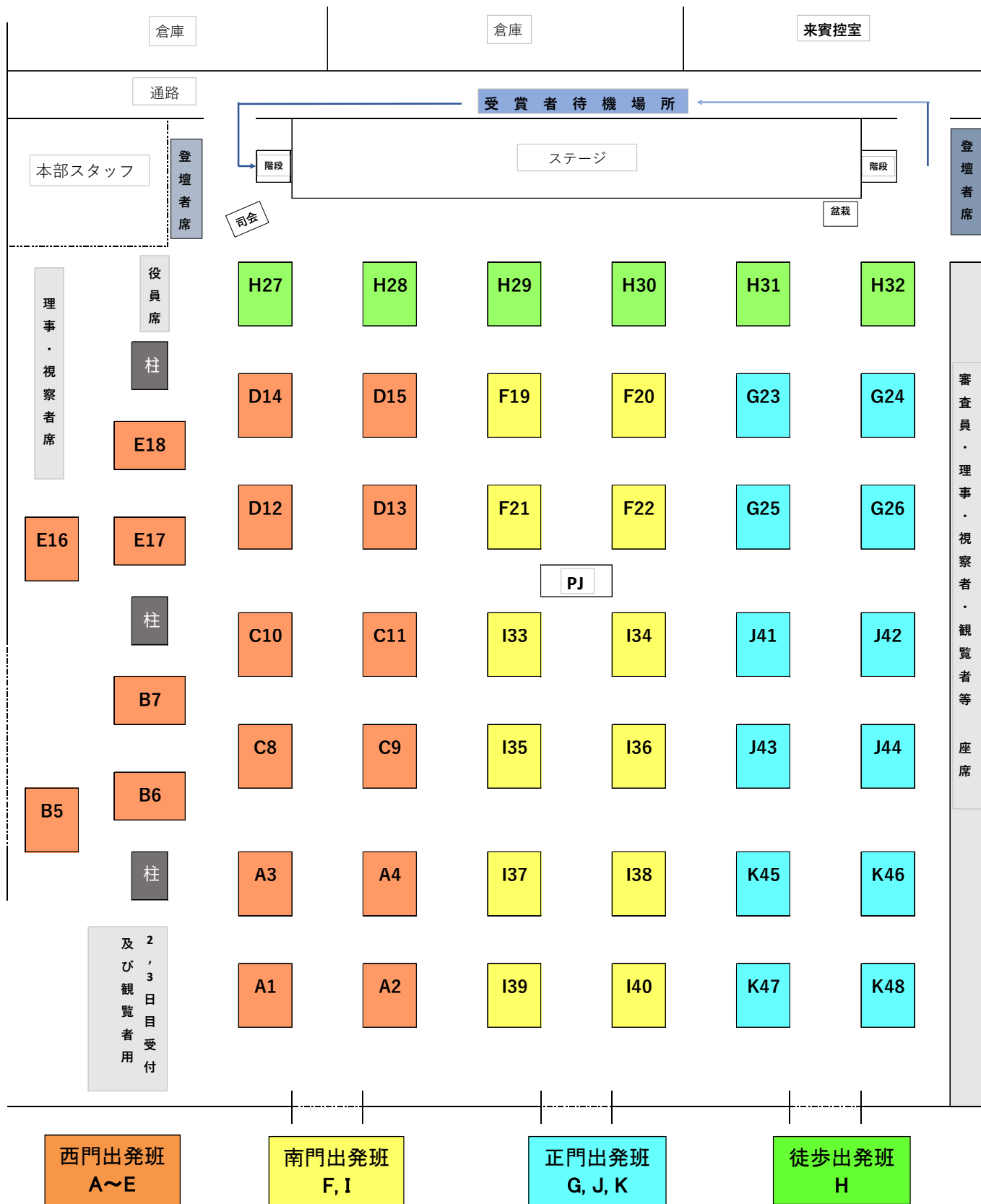
4号館



3号館

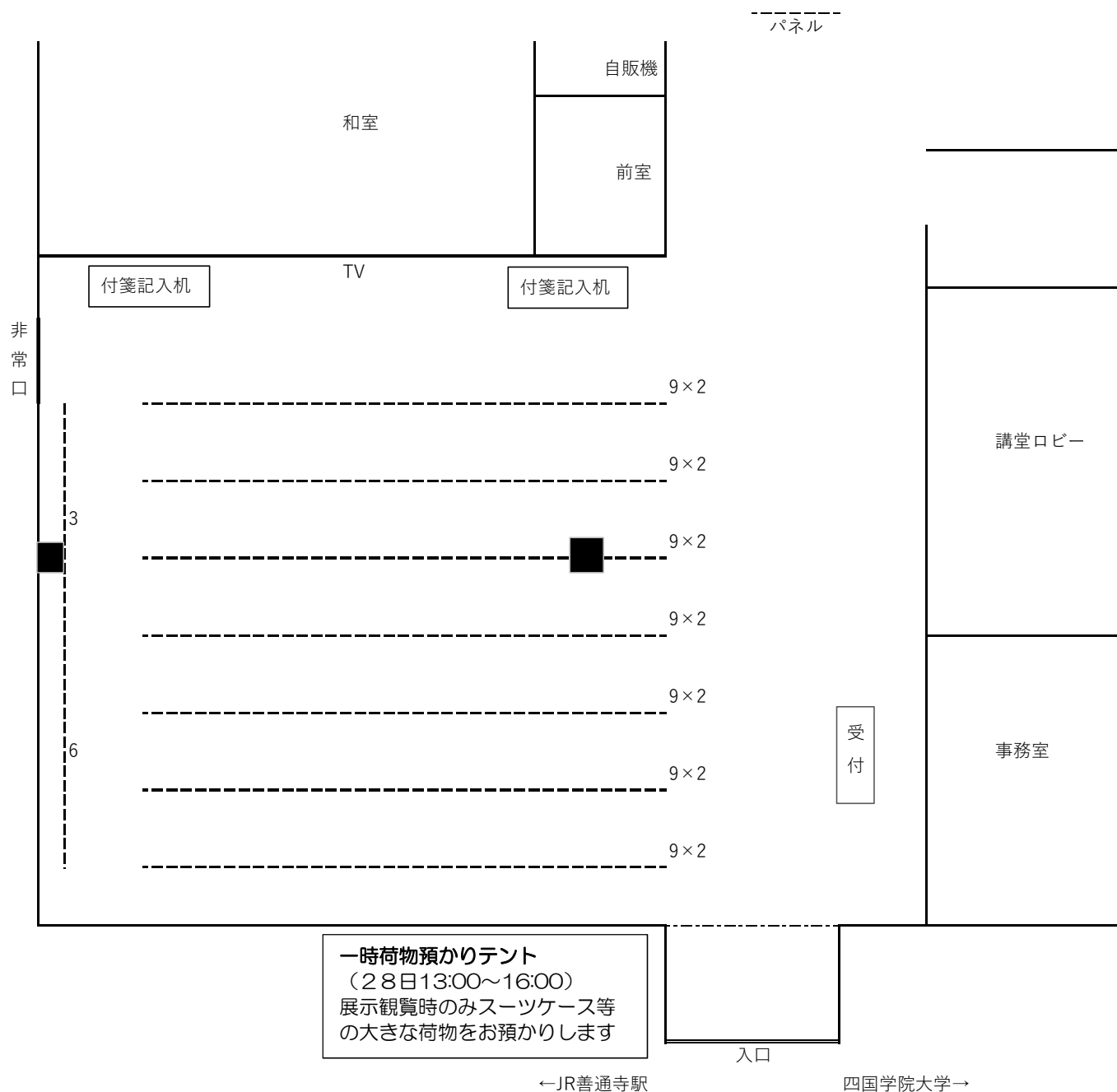


(3) 生徒交流会・式典・交流新聞作成会場(アトリウムコイノス)



- * 柱でステージが見えにくい席があります。式典等の際は遠慮なく椅子を移動させてください。
- * 隣の班との間隔は狭いので、荷物はできるだけコンパクトにして机や椅子の下で管理し、通道をふさがないように配慮してください。
- * 写真印刷は、開会行事終了後にステージ上にパソコン12台、プリンター6台を設置して行います。利用時間は2日目（29日）の16:00～18:00、3日目（30日）の9:00～11:00とします。計画的に利用してください。
- * この会場内での飲食は可能です。

(4) 新聞展示会場(善通寺市民会館ロビー)



8 シャトルバス

(1) シャトルバス（有料）のご案内

配車区間： JR丸亀駅—四国学院大学 間

料 金： 片道500円

配車予定： 7月28日（月）四国学院大学発18:20（2台）

7月29日（火）JR丸亀駅発 8:00（2台）

四国学院大学発18:20（1台）、18:40（1台）

7月30日（水）JR丸亀駅発 8:00（2台）

申込受付： 7月3日（木）～10日（木）（予定）にかがわ総文祭2025ホームページ「宿泊等サポートセンター」で申込

*最寄りのJR善通寺駅もご利用いただけますが、便数が少ないため朝夕とも混雑が予想されます。

*シャトルバスは最少催行人員に満たない場合は配車を中止する場合がございます。ご了承ください。

(2) 発着場所

●四国学院大学：正門（8ページの会場案内図を参照）

●JR丸亀駅前： JR丸亀駅南口



～四国学院大学内 キッチンカーの出店について～

28日（月）13:00～17:00頃

29日（火）16:00～19:00頃

地元、善通寺の食材を利用した軽食が提供される予定です。
29日の日程終了後にご利用になりたい場合は、シャトルバスの申込も含め、ご検討ください。

9 交流新聞取材コース

A コース	醤油蔵と手袋工房：東かがわの産業の伝統と革新に迫る	東かがわ市
----------	---------------------------	-------

香川県の東端に位置する東かがわ市には、多様な地場産業があります。本コースでは、醤油蔵のかめびし屋と手袋工房の江本手袋を訪問し、歴史あるそれぞれの産業が大切に受け継いできた伝統的な製法や技とともに、新しさを取り入れながら輝き続ける現代の姿について取材します。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から4名
- 3 取材人員 4班（1～4班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒4名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 かめびし屋、江本手袋（東かがわ市）
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス		先にかめびし屋の近くで1, 2班が降車、その後江本手袋の近くで3, 4班が降車
12:40	かめびし屋・江本手袋 到着			
			1, 2班：かめびし屋を取材 ・あいさつ・DVD視聴（20分） ・もろみ蔵の見学（20分） ・醤油の味見 ＊もろみ蔵は暗所なので足元注意 ＊写真撮影可 ・職人へ取材（20分）	3, 4班：江本手袋を取材 ・代表者による説明、取材 ・工場見学、手袋作り体験 （1班ずつ交代で各30分ずつ）
13:50	取材場所入れ替え 出発	徒歩		
14:00	到着		公道を歩く。民家が立ち並んでいるので私語を慎むこと	
			1, 2班：江本手袋を取材 ・代表者による説明、取材 ・工場見学、手袋作り体験 （1班ずつ交代で各30分ずつ）	3, 4班：かめびし屋を取材 ・あいさつ・DVD視聴（20分） ・もろみ蔵の見学（20分） ・醤油の味見 ＊もろみ蔵は暗所なので足元注意 ＊写真撮影可 ・職人へ取材（20分）
15:10	かめびし屋・江本手袋 出発	バス		つばさ交流センターでトイレ休憩
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・店舗や施設は営業中で、一般の方もいらっしゃるの、取材のマナーを守ってください。
- ・許可をいただいた場所のみ取材可能です。当日説明があります。
- ・取材地では特に休憩時間は設けていません。取材の合間や移動時間中にトイレに行ったり水分補給をしたりしてください。（かめびし屋、江本手袋ともにトイレはあります。）
- ・バスでの長時間の移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気をつけてください。

B コース	「香川漆芸」これまでと今	高松市
----------	--------------	-----

香川漆器は国の伝統的工芸品に指定されています。江戸時代後期に現れた天才漆工・玉楮象谷が始めた蒔
 醬、存清、彫漆の技法は「香川の三技法」として現代にも受け継がれています。香川県漆芸研究所と県立
 高松工芸高等学校で香川の漆芸を取材します。高松工芸高校では、取材と並行して漆を使った作品制作を
 体験します。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名、運営協力校から4名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から4名 運営協力校から10名程度
- 3 取材人員 3班（5～7班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
 計35名前後
 ＋担当職員2名＋担当生徒4名＋視察者＋全国理事
- 4 取材先 高松工芸高校部活動「Creative 7」、香川県漆芸研究所
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス		
12:30	高松工芸高校 到着			バスは高松工芸高校内に待機
			「Creative 7」の活動概要説明(10分) グループに分かれ、漆の作品制作を体験 しながら専門の職員・生徒に取材(60分)	
13:45	高松工芸高校 出発	徒歩		
14:00	香川県漆芸研究所 到着			
			概要説明(20分) 3グループに分かれて実習を見学 (15分×3 研究生への取材可) 全体での質疑応答	
15:30	香川県漆芸研究所 出発	バス		バス乗車は漆芸研究所前で
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・漆芸研究所の実習室内は漆の粉が浮いているので、漆アレルギーを引き起こす可能性があります。
 中の物に手を触れないでください。
- ・一般の方がいらっしゃる場所もあります。取材のマナーを守ってください。
- ・許可をいただいた場所のみ取材可能です。当日説明があります。
- ・バスでの長時間の移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気をつけてください。

C コース	高松市の歴史的文化の継承と発展をみつめる 玉藻公園 高松オルネ 高松盆栽の郷	高松市
----------	---	-----

このコースでは、日本三大水城のひとつ高松城（玉藻城）と四国の新たな玄関口となった高松オルネ、そして盆栽について知ることができます。瀬戸内の繁栄を見つめて美しき要塞・高松城。その史跡を巡り、サンポート付近の開発にも触れながら発展の変遷を探ります。それとともに、日本一の盆栽の生産地である鬼無（きなし）地区において、「和」と「自然」が融合した鉢の中の小さな日本文化を取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から3名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から4名
- 3 取材人員 4班（8～11班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員3名＋担当生徒4名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 玉藻公園、高松オルネ、高松盆栽の郷
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動		備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス	動画「高松オルネ取材記録（高松商業高等学校）」視聴	
12:30	玉藻公園 到着			
			水城（櫓、水門、天守台）、庭などを巡り、取材する	写真撮影可 施設内では、二手に分かれて取材することもあります
13:20	玉藻公園 出発	徒歩		
13:25	JR高松駅(高松オルネ) 到着			
			JR高松駅直結の駅ビルを巡り、建設のコンセプトや県都高松の玄関口の発展について取材する	写真撮影可 1F商業施設での取材と、4Fで担当者の講話の二手に分かれる 終了後、バスにはJR高松駅のバス乗り場から乗り込む
14:15	JR高松駅(高松オルネ) 出発	バス		
14:45	高松盆栽の郷 到着			
			施設担当者・盆栽職人・香川大学BONSAI☆Girlsによる講話(各10分) 取材、質疑応答(30分)	写真撮影可
15:45	高松盆栽の郷 出発	バス		
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自で帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・石段の昇り降りなどがあるので、歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の準備をお願いします。
- ・取材地には一般の方もいらっしゃいますので、マナーを守って取材してください。
- ・許可をいただいた場合のみ、撮影・取材が可能です。
- ・バスでの長時間の移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気をつけてください。

D コース	瀬戸内海の漁業と海上交通	高松市
----------	--------------	-----

香川県は広く瀬戸内海に面しています。そこでは古くから人々の生活があり、交流がありました。こうした資料を収集・保管して研究を行っている瀬戸内海歴史民俗資料館を訪れ、その貴重な文化遺産について取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から3名
- 3 取材人員 4班（12～15班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒3名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 瀬戸内海歴史民俗資料館
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発			
		バス		車窓から瀬戸大橋を見る
12:40	瀬戸内海歴史民俗資料館 到着			
			2グループに分かれ職員より全館を回って概要説明・質疑応答(30分)	館内写真撮影可。ただし館内説明用動画を録画するのは不可
			その後はまず50分で①～④で取材(班固定)。次の30分は①～④の中で選んで取材。 最後の20分は①～④も含め館内自由取材。 ①海の安全（海上保安庁より） ②漁業（地元漁師より） ③漁網（専門職員より） ④家じまいの中で（当館職員より）	説明後、適宜質問可
15:20	瀬戸内海歴史民俗資料館 出発			
		バス		
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・飲み物や貴重品、取材用具は各自リュックに入れて持ち歩いてください。
- ・館外に出る場合もあるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・階段や石段があるので、歩きやすい靴で参加してください。
- ・館内の展示物には手を触れないでください。
- ・一般の方もいらっしゃるので、取材のマナーを守ってください。
- ・バスでの長時間の移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気をつけてください。

E コース	瀬戸大橋とそれをつなぐ島々を知る 瀬戸大橋・与島・櫃石島	坂出市
----------	---------------------------------	-----

香川県と岡山県とを結ぶ瀬戸大橋はいくつかの橋とそれをつなぐ島々とでできています。鉄道と車道の二段になっているこの橋の構造や成り立ちを橋の橋脚の中に入って知ります。また橋をつなぎ、橋を通して「陸続き」になった島の暮らしの変容について地元の方に取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名 運営協力校から1名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から2名 運営協力校から3名
- 3 取材人員 3班（16～18班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員3名＋担当生徒5名＋視察者＋全国理事 計35名前後
- 4 取材先 瀬戸大橋概要（与島パーキングエリア内）・櫃石島
- 5 移動手段 借上げバス2台（中型）
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス	運営協力校による説明(15分)	バス内でスマホホルダー、ヘルメット着用
12:10	与島パーキングエリア 到着			
			ケーブル模型説明後、アスカイト内へエレベーターで順に管理路まで上がる	危険な行動は取らない 写真撮影は指定された場所のみ可 適宜質問可
13:30	与島パーキングエリア 出発	バス		
13:40	櫃石バス停 到着			
			与島出張所長より説明 (威臨丸顕彰碑・札場・王子神社)	足元に気をつけて歩くこと 適宜質問、写真撮影可
14:20	王子神社下 出発	バス		駐車はひついでし・福王寺・夢・アトスツォ (旧櫃石小中学校)
14:30	公民館 到着			
			全員まず公民館で島の概要の説明後、AB2グループに分かれる。 A…公民館(所長・自治会長・公民館長を交えての質疑応答)ののち、最後にアトスツォ見学 B…アトスツォで福王寺氏の説明のあと作品鑑賞、質疑応答	分かれ方は班内で決めておく
15:20	公民館 出発	バス		
15:30	与島パーキングエリア 到着			
			屋上展望台に上がる	
15:50	与島パーキングエリア 出発	バス		
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自で帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・階段や石段の昇り降り、坂道などがあるので、歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の準備をお願いします。
- ・店舗や施設は営業中で一般の方もいらっしゃるの、マナーを守って取材してください。
- ・許可をいただいた場合のみ、撮影・取材が可能です。
- ・瀬戸大橋管理路に上がる際と福王寺氏の作品鑑賞の際には、安全確保のためペン・携帯電話などの持ち物、触れてよいもの等の指示を厳守してください。

F コース	香川のうどん文化	綾川町
----------	----------	-----

香川県の食文化を代表する「うどん」。その歴史や文化、うどんづくりに欠かせない「小麦」の品種改良の歴史について、専門家の話を聞いたり農業試験場見学をしたりするコースです。うどんの原型といわれる饂飩（ハクタク）づくり体験もします。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から4名
- 3 取材人員 4班（19～22班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒4名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 香川県農業試験場、さぬきうどん研究会、綾川町さぬきうどん研究会
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス	バスの車窓よりうどん店探し	
12:20	香川県農業試験場 到着			
			さぬきうどん研究会より説明（20分）及び質疑応答（25分） 香川県農業試験場より説明（10分） 施設見学（食味試験室・作物収量解析室）（25分） 全体を通しての質疑応答	施設見学をしながら適宜質問可
14:05	香川県農業試験場 出発	バス		
14:15	滝宮公民館 到着			
			綾川町さぬきうどん研究会による説明および饂飩づくり体験（80分）	適宜質問可
15:40	滝宮公民館 出発	バス		
16:20	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・作った饂飩（ハクタク）を食べていただくので、小麦アレルギーのある方はご注意ください。
- ・許可をいただいた場所のみ撮影可能です。当日説明があります。
- ・バスでの移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気をつけてください。

G コース	丸亀市の文化財を巡る ～丸亀城と丸亀うちわミュージアム～	丸亀市
----------	------------------------------	-----

丸亀市にある丸亀城は高さ日本一の石垣を有する「石垣の名城」として知られています。また、丸亀市で生産される職人手製のうちわは「丸亀うちわ」として国の伝統工芸品に指定されています。丸亀城を探索し、丸亀うちわを作る現場を見て丸亀市の文化財を取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から4名
- 3 取材人員 4班（23～26班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒4名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 丸亀城、丸亀うちわミュージアム
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス		
12:10	丸亀城 到着			お堀の北側で降車する
	バス ↓ ↓ 天守コース 石垣コース ↓ ↓ 資料館ギャラリー ↓ バス	徒歩	・大手門から入り、天守コースと石垣復旧事業コースにわかれて説明を受ける。 ・各コースで取材後、資料館ギャラリーで集合し、合同で取材。	写真撮影可。ただし資料館ギャラリー内については指示に従う
13:40	丸亀城 出発	バス		
14:00	丸亀うちわミュージアム 到着			バスはミュージアム北側に駐車
			・全員2階で流れの説明をうけた後、うちわづくり ・作業が一段落した班から1階へ ・1階ではビデオ視聴、職人による説明と取材 ・うちわが乾いた班から2階へ戻り仕上げ	写真撮影可
15:50	丸亀うちわミュージアム 出発	バス		
16:10	四国学院大学 到着			
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・石段の昇り降りなどがあるので、歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・店舗や施設も営業中で、一般の方もいらっしゃるの、取材のマナーを守ってください。
- ・天守コースに行く人はスカートの場合、必ず下にハーフパンツなどを着用してください。

H コース	日本が生みし最大の文化の聖 空海揺籃の地に学ぶ	善通寺市
----------	-------------------------	------

善通寺は四国八十八カ所第75番札所です。世界でも注目の高まっている「弘法大師空海」が生まれ育った地として、その歴史の壮大さを感じることが出来ます。また、偕行社は、日本で初めて重要文化財を一般利用ができるように工夫をして改修したものであり、全国的に見ても貴重な建物です。人の営みと培われた信仰、技術、伝統、現代まで脈々と引き継がれるもの。地域に溶け込む、時間の重なりを味わうコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から3名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から5名
- 3 取材人員 6班（27～32班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員3名＋担当生徒5名＋視察者＋全国理事 計60名前後
- 4 取材先 総本山善通寺、王墓山古墳、旧善通寺偕行社、善通寺市郷土館
- 5 移動手段 徒歩・借上げバス2台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容		備考
			班別編集会議		
11:40 12:00	四国学院大学 総本山善通寺	出発 到着	徒歩		南大門集合
				12:00～12:50 南大門・五十塔・金堂 12:55 御影堂前集合 13:00～13:25 宝物館・御影堂周辺 13:25～ 自由取材	各班1名がカメラ担当。撮影許可の腕章をつける。（途中交代可） 五重塔、宝物館には各班2名が入る。
13:50 14:00	総本山善通寺 王墓山古墳	出発 到着	バス		バスは王墓山古墳の南側に停車
				王墓山古墳見学	各班2名のみ古墳の中に入る。他の班員は、外観観察・撮影を行う。
14:20 14:30	王墓山古墳 旧善通寺偕行社 善通寺市郷土館	出発 到着	バス		バスは市役所駐車場に停車
			◆偕行社スタート 14:35～14:55説明 14:55～15:15 質疑応答・取材 ↓郷土館移動 15:25～15:45説明 15:45～16:05 質疑応答・取材	◇郷土館スタート 14:35～14:55 説明 14:55～15:15 質疑応答・取材 ↓偕行社移動 15:25～15:45 説明 15:45～16:05 質疑応答・取材	27～30班は偕行社スタート 30～32班は郷土館スタート
16:10 16:20	善通寺市郷土館 四国学院大学	出発 到着	徒歩		取材終了後、班でまとまって大学に戻る。
				交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・歩きやすい靴で参加してください。
- ・荷物は肩掛けタイプではなく、リュックを推奨します。五重塔の階段は狭く急なため、動きやすさを重視してください。
- ・女子生徒は制服がスカートの場合、必ず下にハーフパンツなどを着用してください。
- ・一般の方もいらっしゃいます。店舗や施設も営業中ですので、取材のマナーを守ってください。
- ・各班1名のみ写真を撮ることができます。許可をいただいた場所のみ、取材可能です。当日説明があります。

コース	江戸時代こんぴら詣でで栄えた文化の町をめぐる旅	琴平町
-----	-------------------------	-----

琴平町は香川県でも有数の歴史と伝統のある地域です。町発展の礎となった金刀比羅宮を始めとして、昭和60年に再スタートした「こんぴら歌舞伎」の舞台である国の重要文化財「旧金毘羅大芝居（金丸座）」、古き良き文化を色濃く残している金刀比羅宮参道、門前町取材します。

- 1 担当職員 新聞専門部から4名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から10名
- 3 取材人員 8班（33～40班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員4名＋担当生徒10名＋視察者＋全国理事 計80名前後
- 4 取材先 金刀比羅宮、「旧金毘羅大芝居（金丸座）」、門前町
- 5 移動手段 借上げバス2台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発			
12:00	「旧金毘羅大芝居（金丸座）」 到着	バス		バスは近隣で降車
			12:00～12:40 ガイドによる解説 12:40～13:10 自由取材	4班1グループで解説を聞く
13:20	「旧金毘羅大芝居（金丸座）」 出発 金刀比羅宮・門前町		各班の中で以下A Bの2グループに分かれる(班で1人にはならない)	
			Aグループ(金刀比羅宮コース)	Bグループ(門前町コース)
		徒歩	金刀比羅宮の本宮へ向かいながら参道で自由取材	指定された取材先に向かいながら道中自由取材
			14:20から 金刀比羅宮本宮で 金刀比羅宮関係者による説明と質疑 応答	14:00から 以下のうち一カ所 ・こんぴら歌舞伎絵看板 ・Café 森と山 ・池商店 ・金陵の郷
			15:00 帰りのバスへ向かいながら、参道の 店舗等で取材	14:50 帰りのバスへ向かいながら、門前町 を自由取材
15:50	琴平 出発			
16:20	四国学院大学 到着	バス		バスは琴平町営駅前西駐車場で待機
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・石段の昇り降りがあるので、歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・店舗や施設も営業中で、一般の方もいらっしゃるの、取材のマナーを守ってください。
- ・許可をいただいた場所のみ取材可能です。当日説明があります。
- ・バスでの移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気を付けてください。

J コース	香川の水事情	まんのう町 三豊市
----------------------	-------------------	--------------------------

少雨や渇水に苦しんでいた讃岐の地には、古より命の水を求めて満濃池を始めとしたたくさんのため池が造られました。また50年前、他県の水瓶を活用して水を手に入れる香川用水が開発されました。こうした先人の知恵や努力によってできた満濃池や香川用水は人々の暮らしを大きく変えました。香川を潤す水の成り立ちについて取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から5名
- 3 取材人員 4班（41～44班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒5名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 香川用水記念公園、満濃池
- 5 移動手段 借上げバス1台
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス	バス内でDVD視聴（約15分） 「讃岐の水物語」	
12:30	香川用水記念公園 到着			バスは公園駐車場に駐車
			12:30～12:40 東西分土工見学 12:40～13:10 館内の説明 13:10～13:50 自由取材	バス内で視聴できない場合は館内にてDVD視聴。 12:30～12:40 東西分土工見学 12:40～13:00「讃岐の水物語」視聴 13:00～13:30 館内の説明 13:30～13:50 自由取材 館内の展示物、撮影可。書籍閲覧可。
13:50	香川用水記念公園 出発	バス		
14:25	満濃池 到着		満濃池堰堤で降車	
		徒歩	14:25～14:40 堰堤から見学 14:40～14:50「かりん会館」へ移動 14:50～15:10 研修室で「満濃池」について学ぶ 15:10～15:20 1階で「閘(ゆる)」見学 15:20～15:40 自由取材	「堰堤」と「取水塔」、「閘(ゆる)」は2班ずつに分かれて見学。 2階も見学可。 館内の展示物、撮影可。
15:40	かりん会館 出発	バス		
16:20	四国学院大学 到着			バスの乗車はかりん会館の駐車場で
			交流新聞制作	

7 注意点

- ・炎天下を歩く時間があるので、各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・店舗や施設も営業中で、一般の方もいらっしゃるの、取材のマナーを守ってください。
- ・許可をいただいた場所のみ取材可能です。当日説明があります。
- ・バスでの長時間の移動を伴います。乗車前のトイレと乗り物酔いには各自気を付けてください。

K コース	地元の人々による観光資源の維持を知る 琴弾公園（寛永通宝）と父母ヶ浜	観音寺市 三豊市
----------	------------------------------------	-------------

観音寺市の琴弾公園の銭形砂絵「寛永通宝」と三豊市の父母ヶ浜は、香川県の西讃地区を代表する観光地です。ともに地元のボランティアの人々によってその環境が維持されています。江戸時代初期に一夜にして作られたと伝えられる「寛永通宝」と日本のウユニ塩湖とうたわれる父母ヶ浜について、その魅力と維持に携わる人々を取材するコースです。

- 1 担当職員 新聞専門部から2名
- 2 担当生徒 新聞専門部加盟校から5名
- 3 取材人員 4班（45～48班 一班は、生徒6名＋顧問2名が基本）
＋担当職員2名＋担当生徒5名＋視察者＋全国理事 計40名前後
- 4 取材先 琴弾公園（寛永通宝）、父母ヶ浜
- 5 移動手段 借上げバス2台（マイクロ）
- 6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
			班別編集会議	
11:40	四国学院大学 出発	バス		
12:25	琴弾公園 到着			展望台までマイクロバスで上がる
		バス	銭形砂絵「寛永通宝」を展望台より見学後、浜まで下りて間近で見学	展望台や浜での見学の際、説明の合間で適宜質問可
13:05	観音寺市観光協会	徒歩	銭形砂絵の維持をしているボランティアの方に取材（20分）	観音寺市観光協会館内へ移動
13:35	琴弾公園 出発	バス		
14:00	仁尾町文化会館 到着		三豊市観光交流局の石井さんより講話（40分）、質疑応答（20分）	
15:10	仁尾町文化会館 出発	バス		
15:20	父母ヶ浜 到着		店舗等を取材	
15:40	父母ヶ浜 出発	バス		
16:20	四国学院大学 到着		交流新聞制作	

7 注意点

- ・徒歩での移動が多いので帽子や日傘、水分補給の準備をお願いします。
- ・琴弾公園の展望台付近では岩に登ったり、階段の上り下りが想定されます。また銭形砂絵、父母ヶ浜ともに砂地です。適切な履物を準備してください。
- ・雨天時に雨をしのげることはありませんので、雨具の準備もお願いします。
- ・父母ヶ浜の店舗での取材は短時間にしてください。忙しい場合は取材不可です。

10 研修取材

研修取材	瀬戸内海のいきもの 四国水族館	宇多津町
------	-----------------	------

四方を海に囲まれている四国の豊かな海を再現した四国水族館。特に香川県が接する海は内海ということもあり、水深は浅く、風や波も穏やかで約400種もの魚類が生息しています。そこに暮らすいきものたちとの出会い、瀬戸内の自然環境を取材するコースです。

- 1 実施日時 令和7年7月30日（水）14:50～17:40
- 2 参加人員 参加者185名程度
担当職員5名+担当生徒6名+その他（視察等）
- 3 取材先 四国水族館
 - ・基本的に、自由観覧とします。
 - ・四国水族館のジャケットを着用している方には質問をしてもかまいません。
- 5 移動手段
 - ・借上げバス5台（終了時はJR宇多津駅までお送りします）

6 行程

時刻	場所	移動	活動内容	備考
14:30			閉会式終了	
14:50	四国学院大学 出発	バス		参加者はバスまで移動（西門） 担当職員が学校名・お名前を確認
15:20	四国水族館 到着			大きい荷物はバスに積み込んだまま 降車
			取材時間（計140分）	各顧問の指示で、自由取材
17:40	四国水族館 出発	バス		全員の乗車が確認でき次第出発
17:45	JR宇多津駅 到着			
			解散	

7 注意点

- ・各自帽子や水分補給の準備をお願いします。
- ・歩きやすい靴で参加してください。
- ・雨天が予想される場合は雨具の用意をお願いします。
- ・写真撮影の可否は館内の指示に従ってください。許可をいただいた場所のみ取材可能です。
当日説明があります。
- ・一般の方も店舗や施設を利用されていますので、マナーを守ってください。
- ・一般の方に取材をする場合は、取材相手に了解をとったうえで行ってください。
- ・館内で飲食する場合は、各自感染対策やアレルギーに十分注意してください。

11 令和7年度全国新聞専門部 役員名簿

部 会 長		松崎 隆尚	三重県立名張高等学校校長
副 部 会 長		杉谷 悟	三重県立相可高等学校校長
事 務 局 長		富安 道伸	三重県立相可高等学校教諭
事務局次長		瀧野 直哉	三重県立四日市南高等学校教諭
常任理事	北海道 地区	工藤 知美	北海道札幌南高等学校教諭
	東 北 地区	佐藤 泉	古川学園高等学校教諭
	関 東 地区	木南 景子	神奈川県立高浜高等学校定時制教諭
	北信越 地区	長丸 和生	高岡第一高等学校教諭
	東 海 地区	勝又 慎介	静岡県立沼津東高等学校教諭
	近 畿 地区	佐賀 天真	滋賀県立膳所高等学校教諭
	中国四国地区	花岡 健吾	崇徳高等学校教諭
	九 州 地区	安井 秀隆	長崎県立長崎南高等学校教諭
	年間紙面センター	花岡 健吾	崇徳高等学校教諭
	指導者研修センター	木南 景子	神奈川県立高浜高等学校定時制教諭
理 事		各 県 1 人	各都道府県事務局長または全国担当者
監 事		福田 宜史	石川県立金沢錦丘高等学校教諭
		泉 順子	福岡県立修猷館高等学校教諭
顧 問		谷口 豊	前高文連全国新聞専門部事務局長

以上の任期は 2025 年度

全国高校新聞 年間紙面審査賞審査員	内山 康正	元全国高文連新聞部門常任理事
	菅野 昭浩	元北海道高文連役員
	武内 義明	元高文連全国新聞専門部常任理事
	鎌田 寛二	元全国高文連新聞部門常任理事
	中根 淳一	元高文連全国新聞専門部常任理事
	山本 紀子	元兵庫県立高校新聞部顧問

以上の任期は 2024 年 9 月 1 日 ～ 2026 年 8 月 31 日

年間紙面審査賞事務センター	花岡 健吾	崇徳高等学校教諭
指導者研修センター	木南 景子	神奈川県立高浜高等学校定時制教諭

緊急時の対応などについて（参加生徒・参加校の皆様へ）

I 大会参加にあたっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- ① 大会参加時のマスクの着用は、個人の判断に委ねます。ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面等や症状がある場合等においては、マスクの着用を推奨します。
- ② 感染症の接触感染を避けるため、屋外から室内へ入る時、トイレの後や食事の前後など、こまめに手を洗い、手指衛生に努めてください。
- ③ 他者に飛沫を飛ばさないよう、咳・くしゃみをする時は、ティッシュ・ハンカチや袖・肘の内側などを使って、口や鼻を押さえ、咳エチケットを行ってください。
- ④ 夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- ⑤ 熱中症を予防するため、こまめに水分や塩分を補給するとともに、宿舎においてはエアコンを使用して適切な温度を保つように努めてください。
- ⑥ 医療機関での受診費用は実行委員会で負担できません。
なお、健康保険証がない場合は、医療費全額が実費負担となる場合があります。

2 大会参加時のお願い

- ① 引率者は、感染症予防のため、最新の情報を確認の上、移動中や宿舎内等の大会会場外においても、適切な指導を行ってください。
【参考】文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2023.5.8～）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html
- ② 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。※特にアレルギー、心臓疾患等の症状などまた、大会期間中は、朝食時等に参加生徒の健康観察を行ってください。
- ③ 体調不良（感染症の疑い等）がある場合は、直ちに引率者に相談し、医療機関を受診し、適切な対応をとってください。
- ④ 大会期間中に医療機関を受診した場合は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から必ず報告してください。
- ⑤ 救護所に内服薬は置いていません。日頃服用している常備薬を、必ず持参してください。

3 貴重品・手荷物は自己管理してください。

4 自然災害に備えましょう。

- ① 注意報、警報等の気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握してください。
- ② 災害時の安否確認
地震などの大きな災害発生時に、被災地等への安否確認のため、下記のサービスが利用できます。
詳しくは各電話会社に確認してください。
○災害用伝言板サービス（携帯電話） 携帯電話会社各社から提供されています。
○災害用伝言ダイヤル「171」（一般電話、公衆電話、携帯電話）NTTから提供されています。
URL：<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

Ⅱ 緊急時の情報収集

緊急時の大会開催については、大会公式ホームページの「新着情報」で情報を入手してください。
大会公式SNS（インスタグラム、X）でも緊急時の情報発信を行います。
あらかじめフォローをお願いいたします。



公式HP



インスタグラム



X

Ⅲ 開催計画変更時の対応

緊急時、当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、大会公式ホームページの「新着情報」などにより、最新情報を入手してください。

当日の部門大会 開始時刻の繰り 下げの場合	宿舍又は自宅に いる場合	・部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舍又は自宅 で待機してください。 ・警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、公式ホーム ページ等に掲載しますので、確認してください。
	移動中の場合	原則として、宿舍又は自宅に戻ってください。その際、移動中の状 況により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げ が決定された場合		部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会が開催中止となった 場合		特に連絡のない限り、宿舍又は自宅で待機してください。開催会場 は、原則として、開場しません。

Ⅳ 体調不良者やけが人が発生した場合の対応

1 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。
なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を案内するほか、緊急を要する場合は、救急車
の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

2 宿舍等での対応

宿舍等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関での受診等を行
うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。（次頁の「大会会場外における
救護対応フォローチャート」をご覧ください）

※軽度の傷病を除き、受診後は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から必ず報告してくだ
さい。

3 大会会場外における救護対応フローチャート

① 緊急を要する場合

傷病等の発生

宿舎等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車の
出動要請

症状が緊急を要すると判断した場合、引率者は、宿舎の協力を得て直ちに救急車の出動要請を行う。

部門大会
運営本部
への報告

救急車の出動要請後、引率者は速やかに部門大会運営本部に報告する。
各部門の連絡先は公式ホームページで確認すること。

緊急連絡先

(大会開催2週間前を目途に公開予定)



大会運営
本部への報告
(受診後)

引率者は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会運営本部に報告する。

受診報告フォーム

(大会開催2週間前を目途に公開予定)



② 緊急を要しない場合

傷病等の発生

宿舍等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車要請の 判断

引率者は、救急車の出動要請を行うか判断する。

医療機関等の 確認

救急車の出動要請は必要ないと判断した場合、引率者は、宿舍の協力を得て、医療機関等を確認する。（下記を参照）
実際に受診する際は、事前に医療機関に受診の可否を確認する。

大会運営 本部への報告 （受診後）

引率者は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会運営本部に報告する。

受診報告フォーム
（大会開催2週間前を目途に公開予定）



- 急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいか、今すぐ病院に行った方がいいかなど、判断に迷ったときは

救急電話相談 # 7 1 1 9 （つながらないときは 087-812-1055）

- 今診てもらえる医療機関等を探すには、「医療情報ネット（ナビイ）」で検索
<https://www.qq.pref.kagawa.lg.jp/>



V 不審者、不審物への対応

不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。

身の安全を第一に考えて行動し、不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、危険を感じた場合は大声で助けを呼んでください。

また、不審物には触れないようにお願いします。

VI 緊急連絡先

大会期間中の各部門大会緊急連絡先は、公式ホームページで確認してください。

第 49 回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭 2025）における 個人情報の取扱いについて（参加者の皆さんへ）

第 49 回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭 2025）への参加申込書を提出された方の個人情報については、次のとおり取扱うことになりますので、御了承ください。

なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事のすべてが対象となります。

1 個人情報の内容

- (1) 参加者の氏名、学校名、学年、性別
- (2) 競技・審査結果
- (3) 参加者及び展示発表作品の写真、映像等

2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集等への掲載
- (2) 実施要領、運営要領等への掲載
- (3) 展示キャプション等の掲載
- (4) 会場内アナウンス等
- (5) 大会公式ホームページ、大会公式SNS、記録集、記録DVD等記録関係冊子への掲載
- (6) 報道機関等への提供（テレビ、ラジオ、ホームページ、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）
- (7) 総文祭後催県、地方公共団体等への提供
- (8) Web 開催及びオンライン配信実施時の放映（一部を変更して用いることがあります。）

3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を前記に掲げる利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急の場合、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局の許可を得た事業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについて御不明な点があれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

<問合せ先>

第 49 回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会事務局
（香川県教育委員会事務局全国高校総合文化祭推進室内）

TEL：087-832-3772 E-mail：kagawa-soubunsai2025@pref.kagawa.lg.jp